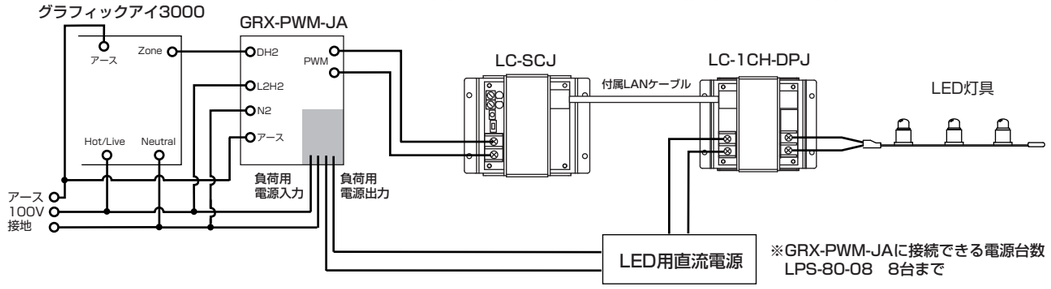
■接続例

> ⚠ 注意
> ・接続の詳細は各機器により異なる場合があります。必ず各機器の取扱説明書をあわせてご確認ください。
> ・電線は各機器指定の電線をご使用ください。
> ・調光器の負荷出力線をLED用直流電源を接続すれば、調光器のスイッチでLED用直流電源のオンオフが可能となります。その際には、調光器固有の最大負荷容量の影響を受けますので、接続する電源の合計容量をご確認ください。
> ・LED用直流電源を調光器と別個に接続すれば、最大負荷容量の影響を受けずに多数の電源とスレーバの接続が可能です。

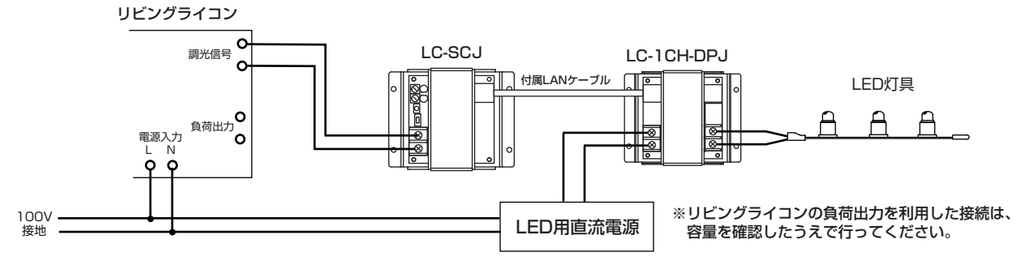
●グラフィックアイ3000シリーズとの配線

グラフィックアイ3000シリーズの位相制御信号をPWM信号に変換するGRX-PWM-JAとの接続が必要です。
GRX-PWM-JAのPWM信号出力をシグナルコンバータに入力してください。
また、グラフィックアイ3000シリーズは『蛍光灯負荷タイプ』用に設定されていることをご確認ください。
LED用直流電源の電源入力をGRX-PWM-JAの負荷用電源出力(AC100V)を介さずに接続することも可能です。



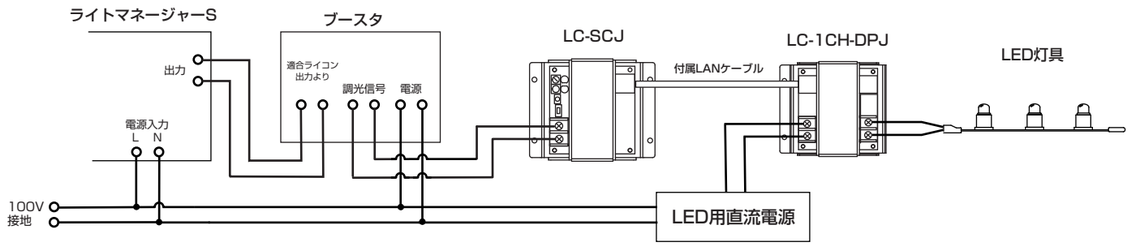
●リビングライコンシリーズとの配線

蛍光灯調光が可能な機種のみで利用可能です。
蛍光灯回路用の『調光信号』の信号出力をシグナルコンバータに入力してください。
負荷出力をシグナルコンバータに接続しないでください。シグナルコンバータが破損します。



●ライトマネージャーSシリーズとの配線

ライトマネージャーSシリーズの位相制御信号をPWM信号に変換するブースタ(Hfインバータ用)との接続が必要です。
ブースタの調光信号出力をシグナルコンバータに入力してください。



LC-SCJ

トキ・コーポレーション株式会社
〒143-0016　東京都大田区大森北3丁目43-15
Tel.03-5763-6121(代表)　Fax.03-5763-6130　http://www.toki.co.jp/tokistar/

2011.5

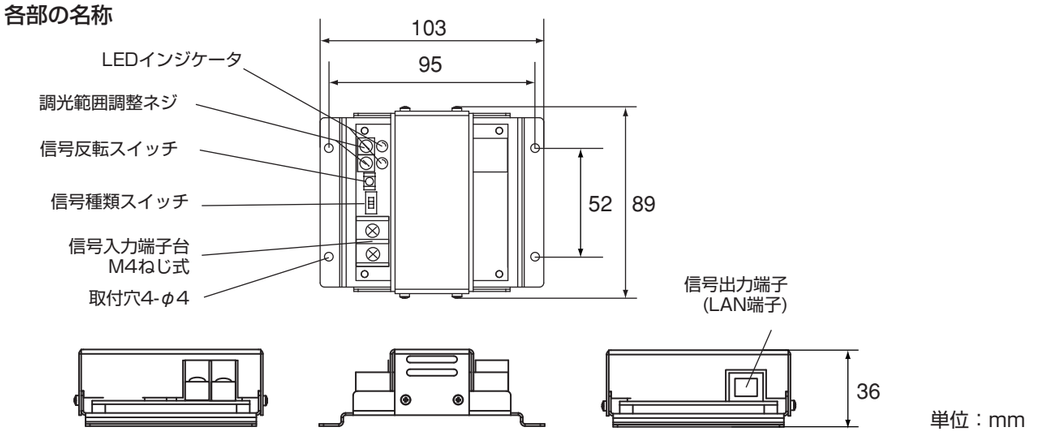
TOKISTAR® LIGHTING SYSTEMS

取扱説明書

シグナルコンバータ　LC-SCJ

この度は、トキスター製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品を安全にご利用いただくため、取り付け前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
なお、本取扱説明書は必ず保管してください。

■外形・各部の名称



■ ご使用になる前に

・出荷案内書の記載内容と商品の種類および数量が正しいことをご確認ください。
・出荷時には慎重に梱包しておりますが、開封した時に万が一製品が破損していた場合はすぐにお知らせください。

■仕様

対応信号　：DC10V 1kHz PWM信号
　　DC 0-10V 調光信号
重量　　：200g
使用環境温度：0-40℃
付属品　　：LANケーブル　30cm

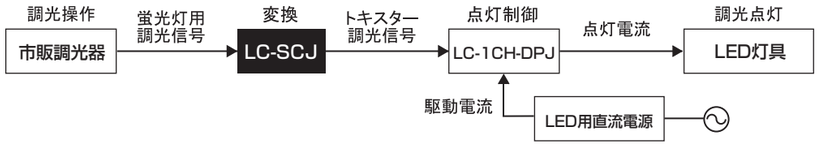
■ 対応機器

・市販PWM信号式調光器またはO-10V信号式調光器
　詳細は『**■対応調光信号**』 を参照ください。
・コントローラ
　1chスレーバ　LC-1CH-DPJ
　グラディ調光スレーバ　LC-GR-DPJ　※1
　上記のコントローラの駆動には別途LED用直流電源が必要です。
　※1 LC-GR-DPJの配線方法は本書の配線方法と異なります。
　　必ずグラディ調光スレーバの取扱説明書にてご確認ください。

> ⚠ 注意
> ・調光器の取扱説明書も合わせてご確認ください。
> ・配線工事は、必ず工事店又は有資格者に依頼してください。(一般の方の電気工事は法律で禁止されています)
> 　また工事の際は電源を切った状態で行ってください。
> ・十分な容量の電線を使用し、圧着端子等で確実に接続してください。
> 　細い電線の使用や不完全な接続は発熱して危険です。
> ・配線した後は、高圧のかかる絶縁測定器などで絶縁チェックを行わないでください。機器が破損する恐れがあります。
> ・パソコン等、指定以外の機器と接続しないでください。
> ・本製品は屋内専用です。水のかかる場所、湿度の多い(結露する)場所には設置しないでください。
> ・風通しがよく、放熱スペースが十分設けられる、周囲温度0～40℃の場所に設置してください。
> ・本製品は低電圧のLED照明器具用です。他の該当しない器具には使用しないでください。
> ・分解、改造は行わないでください。製品保証の対象外となります。
> ・本製品についた汚れは、中性洗剤を軽く含ませた柔らかい布で拭いてください。
> 　シンナーなどは使用しないでください。

■概要

シグナルコンバータLC-SCJは、市販調光器の蛍光灯用調光信号をトキスター調光信号に変換します。
変換された信号により1chスレーバLC-1CH-DPJを制御することでトキスターのLED灯具に最適な調光制御が可能です。



■対応調光信号

・PWM信号 DC10V 1kHz
・0-10V調光信号

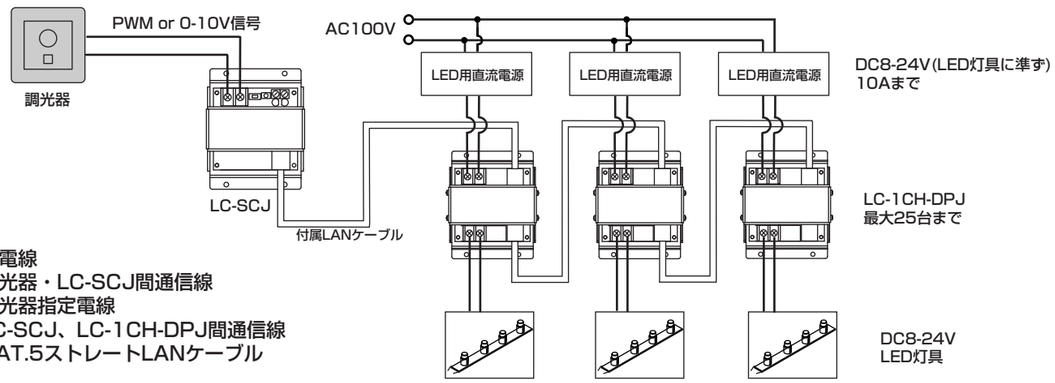
上記2種類の調光信号が利用可能です。
PWM信号は主に日本国内のインバータ蛍光灯、0-10V信号は米国の蛍光灯用の調光信号です。
調光専用蛍光灯用機器は非対応です。PC/Hf 式インバータ蛍光灯用機器のみ対応します。
位相制御式調光器には対応しておりませんが、インバータ蛍光灯調光に対応する機器を接続することにより対応できます。
主な調光器の対応は下表を参照ください。また、対応調光器について不明な際はお問い合わせください。

ルートロンアスカ株式会社製調光器	信号種類	LC-SCJ対応	パナソニック電工株式会社製調光器	信号種類	LC-SCJ対応
グラフィックアイ3000シリーズ ＋PWMｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ(GRX-PWM-JA)	PWM信号	○	リビングライコン 蛍光灯回路 白熱灯回路	PWM信号 位相制御	○ ×
グラフィックアイ3000シリーズ ＋10Vｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ(GRX-TVI)	0-10V信号	○	ライトマネージャーS ＋ブースタ(Hfインバータ用)	PWM信号	○
グラフィックアイ3000シリーズ	位相制御	×	ライトマネージャーS	位相制御	×
グラフィックアイ4000シリーズ ＋TVMモジュール	PWM信号 0-10V信号	○	インバータライコン	PWM信号	○
			ライトマネージャーL ＋PC/Hf調光モジュール	PWM信号	○

■機器構成・配線

調光器のPWM調光信号線または0-10V調光信号線をシグナルコンバータの信号入力端子に接続してください。

> **注意**
> ・調光器によっては負荷用の出力線がある場合がありますが、シグナルコンバータの端子に接続することは絶対におやめください。シグナルコンバータが破損します。
> ・0-10V調光信号には極性があります。調光器の信号線および本体貼付のラベルをご確認ください。
> ・グラディの調光は、1chスレーバではなくグラディ調光スレーバ(LC-GR-DPJ)が必要です。
> 配線方法も異なりますので、必ずグラディ調光スレーバの取扱説明書にてご確認ください。

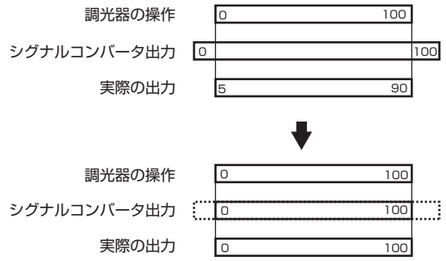


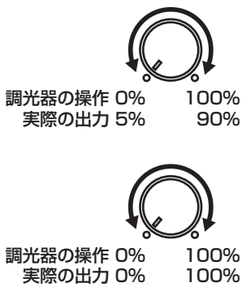
●適合電線
・調光器・LC-SCJ間通信線
調光器指定電線
・LC-SCJ、LC-1CH-DPJ間通信線
CAT.5ストレートLANケーブル

・1chスレーバ1台あたりの最大負荷容量は10Aです。10Aを超える負荷や直流電源を接続しないでください。
・連結増設できる1chスレーバの台数は最大25台です。
25台を超える場合や、信号線の合計距離が50mを超える場合には別途オプション機器シグナルブースタ(LC-SBJ)をご使用下さい。
減衰した信号を復調し接続台数を増加できます。
・グラディの調光にはグラディ調光スレーバ(LC-GR-DPJ)が必要となります。1chスレーバ(LC-1CH-DPJ)は使用できません。
詳しくはグラディ調光スレーバ(LC-GR-DPJ)の取扱説明書をご覧ください。

■初期設定

調光器の機種によって信号に違いがあり、整合を取らないと調光できる範囲が狭くなる場合があります。
ご使用前には必ず初期設定を行ってください。
シグナルコンバータは出力が最小になるときと、最大になるときにLEDインジケータが点灯しますので、
調光器をそれぞれ最小・最大に操作したときにLEDインジケータが点灯するように調整するだけで設定が完了します。



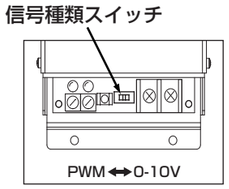


■初期設定の手順

> **注意**
> **電源を投入する前に、配線を確認してください。**
> **特に、極性が正しく接続されているかご確認ください。**

1 信号種類スイッチを確認します

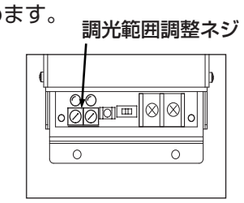
インバータ調光器具用の調光器をお使いであればスイッチが
PWM側になっていることを確認してください。
0-10V調光信号機器をお使いの場合は、スイッチを0-10V側にします。



2 調光器を最小点灯状態にします

3 調光範囲調整ネジを回し、LEDインジケータが点灯するところで止めます。

LEDインジケータが点灯しない場合は、もう一方のネジを回してください。
両方点灯しない場合は、接続および電源を確認してください。



> **注意**
> **調整ネジは電子部品です。強く回さないでください。**
> **破損するおそれがあります。**

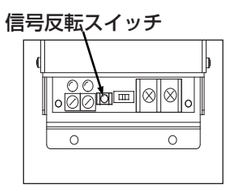
4 調光器を最大点灯状態(100%)にします

5 もう一方の調光範囲調整ネジを回し、LEDインジケータが点灯するところで止めます。

6 調光器を操作し、動作を確認します

操作と調光が逆の場合は・・・

信号反転スイッチを2.3秒間押し続けてください。
LEDインジケータが点滅すると調整が完了します。



0%のときにLED灯具がちらつく・・・

3 の操作で調整してください。
LEDインジケータが点灯した状態で、すこしネジを回すとちらつきが止まります。